

---

## 日本のAM<sup>※</sup>によるものづくりが世界に追いつき追い越すために 「(一社)日本AM協会が大きな推進力として発進します！」

---

※AM : Additive Manufacturing ・ 積層造形 ・ 3Dプリンティング

AMの普及促進を目指して2014年2月に設立した「3Dものづくり普及促進会」は、様々な公的機関、研究機関の支援や民間企業の協力を得て活動してまいりました。このたび、日本におけるAM市場をさらに広げるため、同促進会を発展的解消し、一般社団法人日本AM協会を新たに設立いたしました。当協会は、近畿経済産業局が立ち上げた「Kansai-3D 実用化プロジェクト」の事務局としての活動を引き継ぐとともに、今後、当協会が中心となって同プロジェクトを推進して参ります。



### ■一般社団法人日本AM協会とは

AMはDXのキーテクノロジーと位置付けられています。デジタル化された製造プロセスをネットワーク接続することで、製造プロセスの超高度化・超効率化を推進し、「複雑な内部構造設計」による金型製造、「複数部品一体化」による組立レス、無在庫の生産システムなどを実現します。また、材料ロスや輸送コストの削減にも資することから、カーボンニュートラルの観点でも注目の技術です。

一般社団法人日本AM協会には、AM活用に必要な以下の技術に関係する各企業が正会員・賛助会員として参加しており、AMを導入・活用する際のユーザー企業の疑問や課題に対して、相談・解決に対応します。

- ・デザイン設計 (DfAM)
- ・材料 (材質や形状)
- ・3D積層造形装置 (3Dプリンター)
- ・後加工 : Post-processing (サポート除去、熱処理、切削加工)
- ・規格品質保証

また、研究機関や業界団体等とも連携体制を構築しており、世界から遅れていると言われる日本のAMによるものづくりの普及促進に寄与し、AMプロセス全体をサポートできる国内唯一の団体です。(別添参照)

## ■一般社団法人日本AM協会の活動内容

AM関連技術分野の正会員・賛助会員による最新情報発信イベント、ユーザー企業に対する各プロセスでの技術相談や導入支援、参考となるユーザー事例紹介、AM活用に必要な人材育成プログラムの提供、各分野の会員企業による各種ソリューション連携、ユーザー企業の連携機会の提供などの活動を通じて、AM市場の活性化を図ります。

今年度は、キックオフイベントとして、海外で成功事例を出し、AM市場を先導している航空宇宙・防衛産業をテーマとして、6月にJAXA、7月に防衛装備庁のご協力を得て、技術紹介や取組み、AMへの期待などを講演いただくセミナーを実施します。

また、当協会HP上で、eラーニングによる人材育成プログラムやその他セミナーやイベントの発信を開始します。

<当協会HP>

<http://www.jsam.or.jp/>

## ■一般会員（有料）・情報会員（無料）の募集

4月末から当協会のHPで、AMユーザーとなる企業を一般会員（有料）、情報会員（無料）として随時募集を開始します。

それぞれの会費等については以下をご覧ください。

分類	入会金	年会費	備考
一般会員 (有料ユーザー会員)	なし	6,600円 /名	・メルマガ受信 ・協会が主催する各種イベント・サービス等への参加(利用)無料、もしくは会員価格にて参加(利用)可能。 ・会員専用サイトにて各種イベント動画・資料等を閲覧可能。
情報会員 (無料ユーザー会員)	なし	なし	・メルマガ受信 ・各種イベントへの参加は有料。

## ■Kansai-3D 実用化プロジェクト会員の移行について

Kansai-3D 実用化プロジェクトの会員企業には、当協会への移行確認を3月末にメールにて行います。

移行を希望する場合は、一般会員（有料）、情報会員（無料）のいずれかを選択いただきます。

※Kansai-3D 実用化プロジェクトの概要については近畿経済産業局HPをご覧ください。

<https://www.kansai.meti.go.jp/3jisedai/project/3Dkansai/press/20190124.html>

### 【本資料の問い合わせ先】

一般社団法人日本AM協会（事務局:澤越）

大阪市西区西本町1-14-18

電話：06-6535-7017 FAX：06-6535-7018

Email: info@jsam.or.jp

URL: <http://www.jsam.or.jp/>



一般社団法人 日本AM協会

## <一般社団法人日本AM協会の概要>

### 1. 設立目的（定款の抜粋）

3Dものづくり普及促進会の活動を全面的に引継ぎ、AMに関する技術の向上及び普及並びにAMを適用した構造物の品質性能の高度化を図り、日本及び世界のものづくり産業の発展に寄与することを目的とする。

### 2. 設立年月日

2022年3月8日

### 3. 正会員（2022年3月9日現在：順不同、19社）

- ・株式会社立花エレテック
- ・オリックス・レンテック株式会社
- ・協栄産業株式会社
- ・株式会社J・3D
- ・ジェービー・エンジニアリング株式会社
- ・DMG森精機株式会社
- ・株式会社イグアス
- ・大阪冶金興業株式会社
- ・大陽日酸株式会社
- ・株式会社竹中工務店
- ・テュフズードジャパン株式会社
- ・株式会社データ・デザイン
- ・日本3Dプリンター株式会社
- ・日本電産マシンツール株式会社
- ・三菱電機株式会社
- ・株式会社山一ハガネ
- ・森村商事株式会社
- ・株式会社ODEC
- ・Formlabs株式会社

### 4. 賛助会員（2022年3月9日現在：順不同、13社）

- ・応用技術株式会社
- ・オートデスク株式会社
- ・株式会社キャドマック
- ・金属技研株式会社
- ・山陽特殊製鋼株式会社
- ・株式会社テクノソリューションズ
- ・株式会社パシフィックソーワ
- ・パルステック工業株式会社
- ・株式会社フュージョンテクノロジー
- ・三菱電機クレジット株式会社
- ・八十島プロシード株式会社
- ・株式会社3D Printing Corporation
- ・株式会社DOHO

### 5. 連携機関（2022年3月9日現在：順不同、17団体）

- ・一般社団法人日本工作機械工業会
- ・一般社団法人日本鑄造協会
- ・一般社団法人日本溶接協会
- ・公益社団法人日本金属学会
- ・一般社団法人スマートプロセス学会
- ・一般社団法人西日本プラスチック製品工業協会
- ・公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構（次世代自動車センター）
- ・国立研究開発法人産業技術総合研究所（工学計測標準研究部門）
- ・国立大学法人大阪大学（異方性カスタム設計・AM研究開発センター）
- ・国立大学法人大阪大学（接合科学研究所）
- ・国立大学法人山形大学
- ・兵庫県公立大学法人兵庫県立大学
- ・慶應義塾大学（KGR1 環デザイン&デジタルマニュファクチャリング創造センター）
- ・地方独立行政法人大阪産業技術研究所
- ・兵庫県立工業技術センター
- ・滋賀県工業技術総合センター
- ・和歌山県工業技術センター